

# 市民の命と安全を守りたい 消防団員の思いを尊重し、改革を！

今号は消防団適正配置に関する私  
の一般質問です。「団員の負担を軽  
くし、本番に役立つ訓練を」との声  
に寄り添い、質問しました。

【橋爪】3月に提出された上越市消  
防団適正配置検討委員会報告書のな  
かのアンケート結果を見て驚いた  
が、団員の心の底流には、「市民の  
命と安全を守りたい」というものが  
あると受け止めた。市長は報告書を  
どう受け止めたか。また、これから  
の消防団適正配置について、今後、  
市としてどのように進めていく考え  
かききたい。

【村山市長】報告書では、ヒヤリ  
ンゲやアンケート調査の結果か  
ら、消防団員の勤務地や勤務形態  
等によって消火活動等における初  
動態勢を取ることに難しくなっ  
てきている実態を始め、「そもそも  
消防団がどんな活動をしているの  
か知らない」、「訓練等で休日  
に家族で過ごす時間が取れない」な  
ど、消防団に対する決して肯定的  
なものばかりではない地域の声  
や、団員からは「夜警や訓練等  
は、特定の団員でしか対応できず  
負担が大きい」、「団員の勧誘に  
行っても親から断られる」など切

実な声が語られており、その上で、  
正に将来の姿をイメージしながら、  
「組織体制の見直し」と「消防団員  
の確保」の必要性についての確な提  
言をいただいたものと受け止めてい  
る。

この検討委員会の報告書と消防団  
が自らまとめた再編案をしっかりと  
受け止め、将来の姿をイメージしな  
がら、やるべきことを先延ばしせず  
に取り組んでまいりたい。

【橋爪】消防団適正配置（問題）の  
中心は団員。市民の命と安全を守る

ために役立ちたいという思い、これ  
を発揮できるように仕組みをつくる  
ことが必要ではないか。

【村山市長】団員の気持ちや大事に  
しながら、（団活動の）危険性や奉  
仕をどう理解していただくかとい  
う思いで答弁した。AとBをくっつけ  
ればいいという簡単な問題ではない  
ことは十分承知している。しっかりと  
取り組んでいく。



【春よ恋】「春よ恋」  
は、静岡県の加茂花菖蒲  
園が改良して作ったガク  
アジサイの品種のひとつ  
です。中央に両性花が集  
まり、その周りを囲むよ  
うに装飾花がつきます。  
どちらも八重咲きです。  
花の色はピンクが基本で  
すが、土壌などの条件に  
よって微妙に変化しま  
す。写真は吉川区にて撮  
影しました。



## 指名業者選定、入札結果に疑問

上越地域消防事務組合議会臨時会が25日開かれ、  
財産の取得（消防ポンプ自動車など）、手数料条例  
の一部改正など4件を審議しました。いずれも賛成  
多数または全会一致で可決しました。

消防ポンプ自動車を取得する案件では、議員か  
ら、指名業者の選定にあたって、消防自動車を購入  
する相手としてふさわしいかどうか疑問視する質問  
が出ました。私は、3回の入札すべてで高坂防災株  
が最低価格を入れたことをとりあげ、「これでは競  
争性が確保されたとは言えない」とのべ、反対しま  
した。

消防ポンプ自動車2台を購入する入札は4月22  
日に行われ、3回にわたる入札の結果、高坂防災株  
が8560万円で落札していました。

## 市消防点検、変わり始める

上越市消防点検が23日、春日野駐車場で行  
われ、参加してきました。

消防団適正配置などで注目されている消防  
団ですが、この日は部隊訓練をしないなど改  
革の動きが見えました。

カットは小型ポンプ操法競技。優勝は上越  
方面隊保倉分団でした。ポンプ車は今年も上  
越方面隊第三分団が優勝しました。



**No.1915 2019.6.30**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第五六三回

### 談話室にて

六月にしてはめずらしい青空が広がった日のこと、近くのグループホームに入所している叔父のところへ行ってきました。

職員さんに案内してもらい談話室に近づくと、歌声が聞こえてきました。伸びのある男性の声は間違いなく叔父です。昔から歌謡曲を好んで歌っていた叔父ですが、施設でも歌っていることがわかったら、うれしくなりました。

今回は訪ねた時間が午前10時を少しまわったときだったこともあって、入所者の皆さんのほとんどは談話室に出て、お茶を飲んでおられました。より正確に言うとお茶を飲み、歌などを楽しんでおられたようです。

私が施設を訪ねると、いつも喜んでくれる叔父。この日も、談話室に入った途端、私の顔を見て、「おーっ、最高！」と大きな声を出して、歓迎してくれました。

談話室には女性の入所者、男性の入所者などが数人、介護スタッフが三人ほどおられました。

叔父のそばまで行ったら、「なんか、また太ったがねがが」と私に言うので、「まんなま食えば太るわね」と答えると、まわりの人が笑っていました。

私が談話室に入ったことで、ちょっとだけ私の方に入所者の目が向きましたが、一、二分後には再び歌が始まりました。

「ハア 踊り踊るなら チョイト 東京音頭 花の都の 花の都の 真ん中で：ヤートナ ソレ ヨイヨイヨイ」

歌はご存じ、東京音頭です。歌詞を忘れてた人も「ヨイヨイヨイ」だけは歌うことができます。歌っている人たちはみんなニコニコ顔になっていました。

続いて、童謡です。「ウサギとカメ」が始まりました。

「もしもし カメよ カメさんよ せかいのうちにおまえほど あゆみの のろいものはなし どうして そんなに……」

昔の歌はけっこう覚えていたものですが、たいがい一番だけです。でも、「ウサギとカメ」の二番もちゃんと覚えていた人がいました。

「ウサギとカメ」の後、「浦島太郎」や「ふるさと」「佐渡おけさ」と続き、イスに腰掛けたまま踊る人もいました。この人は、昔、踊りを教えていたことがあるのかも知れません。手や指の動きがとてもきれいでした。

私はこれまで数回、この施設を訪れていますが、大勢の入所者の皆さんと一緒に過ごすのは今回が初めてでした。これまでは一五分くらいでしたが、今回は三分近くもおじゃましました。楽しかったですね。

入所している女性の皆さんはおしゃれで、八〇代、九〇代とは思えない若々しい雰囲気が出ていました。若い男性の介護スタッフを意識してか、「八〇代でも素敵な女性、いるんだよ」という人も。

驚いたのは、介護スタッフではなく入所者の中の一人がリードして歌を歌っていたことです。「静かにしてりや、お通夜になっちゃうねかね。さあ、みんな歌いましょう」「いま、頑張ってるや、あったかくなってるから、帰れるよ」と呼びかけていました。すごいなと思いました。

この施設ではいつも発見があります。入所者が歌をリードしていたのもその一つですが、この日、私の目に留まったのは談話室にあった七夕飾りの短冊。「大金持ちではなく、小金持ちになりたい」「あなた一人にかけたおれのいのちしぬ迄もってゆきましよう」。こんな素敵な言葉と出会うとまた、出かけてみたくなります。

## あぜ道ほたる・夢灯りinほたるの里

22日、大島区で行われた「あぜ道ほたる・夢灯りinほたるの里」に出かけてきました。

石橋の田んぼや道路には「夢灯り」がたくさん並んでいました。そして、大島地域生涯学習センターでは、音楽ライブと大島小学校児童による「ほたるのこおどり」です。こ

ちらは途中参加でしたが、上教大の学生さんたちの演奏の後半から終わりまで楽しむことができました。「ほたるのこおどり」は踊りの指導をしてもらったおかげで、踊りの構成がよくわかりました。

会場では、久しぶりに会い、言葉を交わす人が何人もいました。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月19日(水)	6月26日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.057	0.050
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.050	0.043



▼歌う「コール大島」の人たち



# 春よ来い

## 第五六三回

### 談話室にて

六月にしてはめずらしい青空が広がった日のこと、近くのグループホームに入所している叔父のところへ行ってきました。

職員さんに案内してもらい談話室に近づくと、歌声が聞こえてきました。伸びのある男性の声は間違いなく叔父です。昔から歌謡曲を好んで歌っていた叔父ですが、施設でも歌っていることがわかったら、うれしくなりました。

今回は訪ねた時間が午前10時を少しまわったときだったこともあって、入所者の皆さんのほとんどは談話室に出て、お茶を飲んでおられました。より正確に言うとお茶を飲み、歌などを楽しんでおられたようです。

私が施設を訪ねると、いつも喜んでくれる叔父。この日も、談話室に入った途端、私の顔を見て、「おーっ、最高！」と大きな声を出して、歓迎してくれました。

談話室には女性の入所者、男性の入所者などが数人、介護スタッフが三人ほどおられました。

叔父のそばまで行ったら、「なんか、また太ったがねがが」と私に言うので、「まんなま食えば太るわね」と答えると、まわりの人が笑っていました。

私が談話室に入ったことで、ちょっとだけ私の方に入所者の目が向きましたが、一、二分後には再び歌が始まりました。

「ハア 踊り踊るなら チョイト 東京音頭 花の都の 花の都の 真ん中で：ヤートナ ソレ ヨイヨイヨイ」

歌はご存じ、東京音頭です。歌詞を忘れてた人も「ヨイヨイヨイ」だけは歌うことができます。歌っている人たちはみんなニコニコ顔になっていました。

続いて、童謡です。「ウサギとカメ」が始まりました。

「もしもし カメよ カメさんよ せかいのうちにおまえほど あゆみの のろいものはなし どうして そんなに……」

昔の歌はけっこう覚えていたものですが、たいがい一番だけです。でも、「ウサギとカメ」の二番もちゃんと覚えている人がいました。

「ウサギとカメ」の後、「浦島太郎」や「ふるさと」「佐渡おけさ」と続き、イスに腰掛けたまま踊る人もいました。この人は、昔、踊りを教えていたことがあるのかも知れません。手や指の動きがとてもきれいでした。

私はこれまで数回、この施設を訪れていますが、大勢の入所者の皆さんと一緒に過ごすのは今回が初めてでした。これまでは五分くらいでしたが、今回は三分近くもおじゃましました。楽しかったですね。

入所している女性の皆さんはおしゃれで、八〇代、九〇代とは思えない若々しい雰囲気です。若い男性の介護スタッフを意識してか、「八〇代でも素敵な女性、いるんだよ」という人も。

驚いたのは、介護スタッフではなく入所者の中の一人がリードして歌を歌っていたことです。「静かにしてりや、お通夜になっちゃうねかね。さあ、みんなで歌いましょう」「いま、頑張ってるや、あったかくなってるから、帰れるよ」と呼びかけていました。すごいなと思いました。

この施設ではいつも発見があります。入所者が歌をリードしていたのもその一つですが、この日、私の目に留まったのは談話室にあった七夕飾りの短冊。「大金持ちではなく、小金持ちになりたい」「あなた一人にかけたおれのいのちしぬ迄もってゆきましよう」。こんな素敵な言葉と出会うとまた、出かけてみたくなります。

## 「よしかわうまれ」誕生への道、関東通産ブロックで発表へ

去る5月、商工会女性部主張発表大会新潟県大会で最優秀賞を獲得した吉川商工会の吉田加代さん。今度は7月に行われる関東通産ブロック大会に出場します。

先日、吉田加代さんが県大会で発表したときの原稿をみせていただきました。

「はじめまして。白い蒸しどら『よしかわうまれ』です……」の冒頭で吉川商工会女性部が商品化し、販売したときのPR文を紹介。その後、「よしかわうまれ」ができるまで、女性部全員とのかかわり、地域とのかかわりが書かれていました。

特産品を作るようになったきっかけは、商工会長さんの女性部総会での発言、「最近の吉川区は元気がない。女性部の力で特産品を作り、吉川区をPRして……」でした。そして、この提案に応えようと女性部の皆さんが奮闘します。美味しい自然薯と自慢のお米を生かし、たくさんの商品案から選ばれたのは、どら焼きでした。

「子どもからお年寄りまで幅広く親しんでもらえるように」という思いで決まったんですね。その後、「風味と食感」にこだわり、試作を重ねます。そして、吉川区のイベントで参加者から試食をしてもらい、念には念を入れて、より良いものへと仕上げていく。見事でした。

原稿では、吉川区を全面に出す商品を作り出す苦勞や効果などにも言及、地域の人たちとのつながりが広がり、商工会員の絆も深まったとありました。

結びの言葉は、「これからも地域を元気にしていきたい」でした。関東ブロック大会、頑張ってくださいね。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月19日(水)	6月26日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.057	0.050
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.050	0.043